



---

**Install manual**

*by SparxSystems Japan*

Enterprise Architect 日本語版 インストールマニュアル



## 1. はじめに

このインストールマニュアルは、Enterprise Architect 日本語版 バージョン 14.1 をインストールするためのマニュアルです。

**インストールには管理者権限が必要です。管理者権限を持つユーザー(Administrator など)でインストールしてください。**

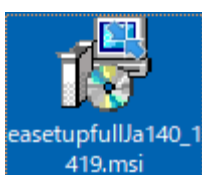
過去のバージョン・ビルドがインストールされている環境に新しいバージョン・ビルドをインストールする場合には、手順はこのドキュメントで示している内容と全く同じです。インストールの処理中に自動的に古いバージョン・ビルドをアンインストールし、その後バージョン 14.1 をインストールします。評価版や読み込み専用版(Viewer)がインストールされている環境についても、同様にインストール時に評価版をアンインストールします。

なお、環境によっては、過去のバージョンのアンインストールが正しく行われなかったり、古いバージョンのファイルが残ったりする問題が発生するという報告があります。このような状況の場合には、Windows のコントロールパネルから Enterprise Architect(製品版あるいは評価版)を一度アンインストール後、Enterprise Architect のインストールディレクトリに残されたファイルを全て削除し、その後に再度最新版をインストールしてください。

## 2. インストールの手順

インストーラーを起動するためには、次のようにして行います。

- a. インターネットからダウンロードした場合



**easetupfullJa\*\*\*\_\*\*\*\*.msi**(\*\*の部分には数値が入ります)ファイルが、ダウンロード時に指定したフォルダにあります。このファイルをダブルクリックしてください。

(なお、ファイル名はバージョン番号・ビルド番号によって異なります。バージョン 14.1 ビルド 1427 の場合には、easetupfullJa141\_1427.msi となります。)

- b. CD から起動する場合

Enterprise Architect の CD を CD-ROM ドライブに挿入してください。「マイコンピュータ」を開き、CD-ROM ドライブの中身を参照してください。**easetupfullJa.msi** というファイルがありますので、これをダブルクリックして起動してください。

最初に、以下のような画面が表示されます。

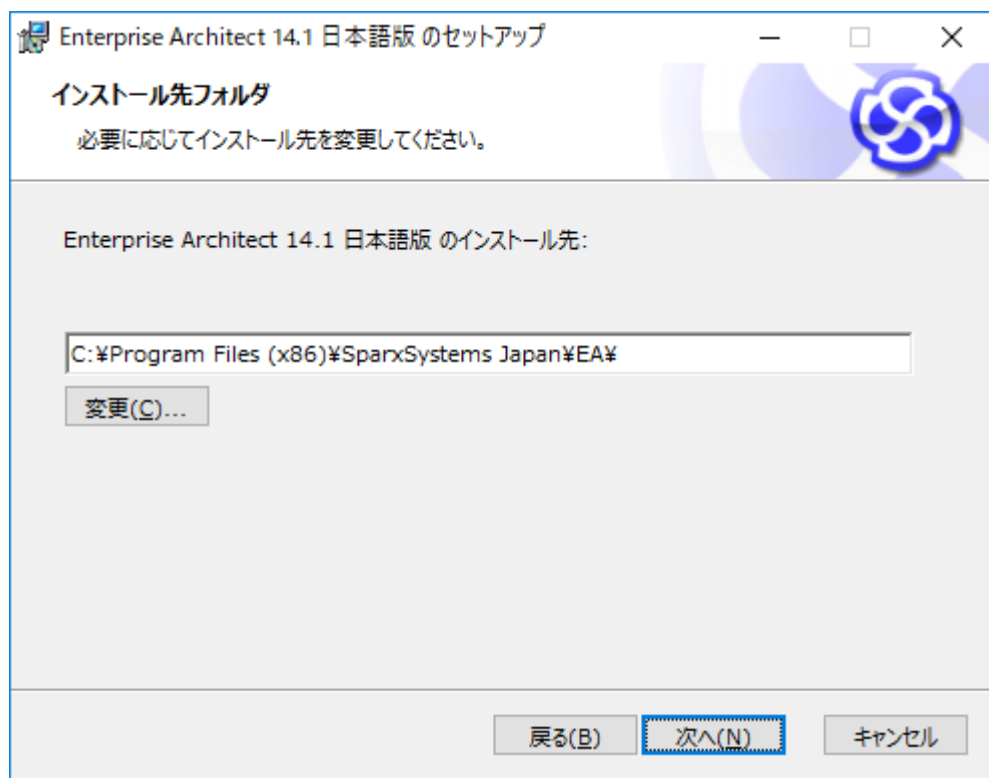


この画面では、「次へ」のボタンを押してください。次に、使用許諾契約の確認画面が表示されます。



内容を確認して問題がなく、同意できる場合には「使用許諾契約に同意します」にチェックを入れて、「次へ」ボタンを押してください。次のページが表示されます。使用許諾契約に同意できない場合には、インストールすることはできません。

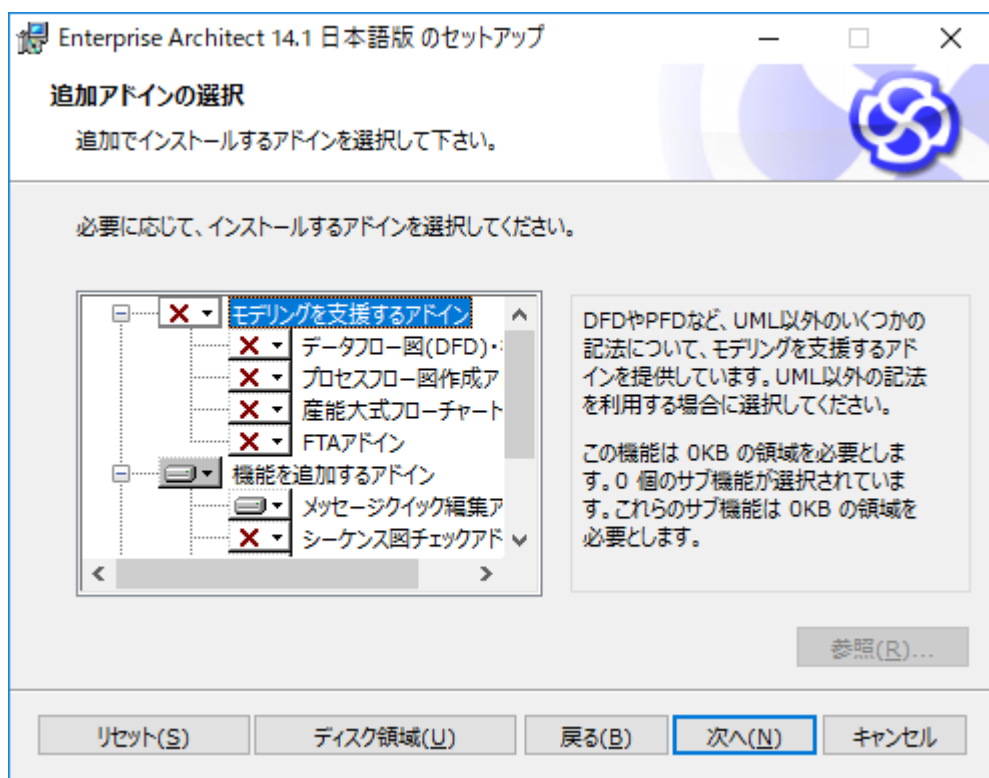
次に、インストールするフォルダを指定します。既定値では、Windows がインストールされているドライブ(通常は C ドライブの Program Files¥SparxSystems Japan¥EA (32bitOS の場合) あるいは Program Files (x86)¥SparxSystems Japan¥EA (64bitOS の場合)にインストールされます。ほとんどの場合にはこの既定値で問題ありません。「次へ」ボタンを押すと、次の画面に進みます。



次の「追加アドインの選択」画面では、Enterprise Architect で利用できるアドインの利用の有無を指定します。既定値では、おすすめのアドインのみが有効になっています。必要に応じて、利用する図をサポートするアドインや、機能を追加するアドインを選択してください。

DFD(データフロー図)・PFD(プロセスフロー図)・産能大式フローチャート・FTA(フォルトツリー解析)を利用する場合には、それぞれの項目を操作し、インストールするように設定してください。

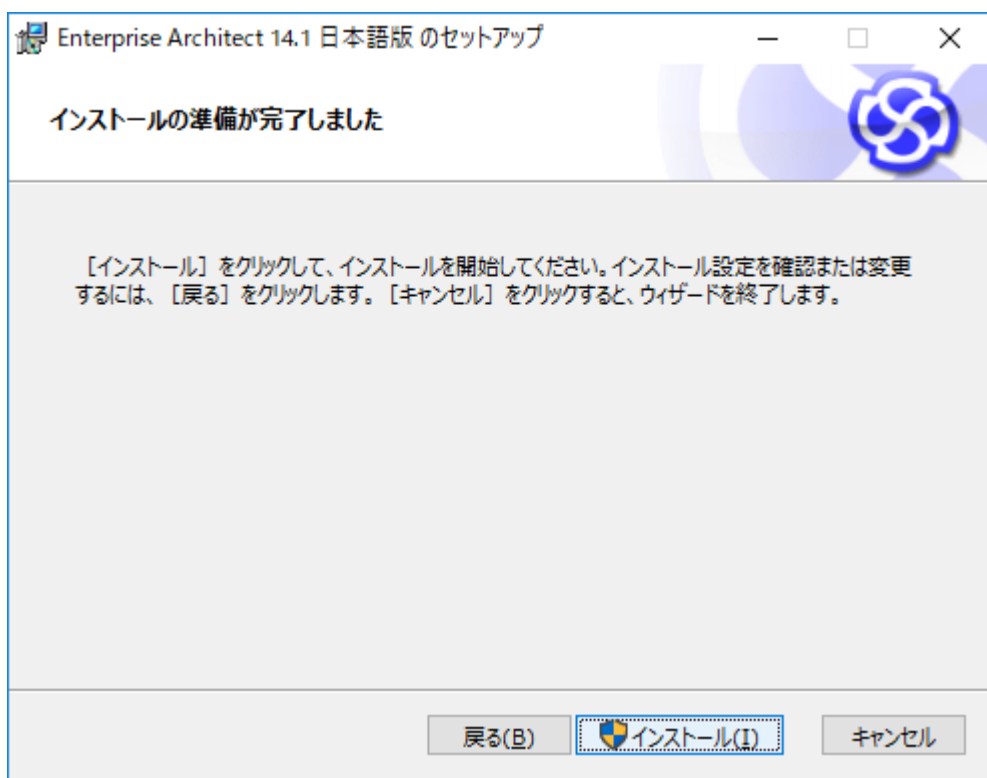
USDM・SCDL・GSN など、このインストーラーとは別にスパークスシステムズジャパンの Web サイトからダウンロードし、別途インストールする必要がある表記法もあります。



なお、ここで設定した内容は、インストール後に変更することも可能です。特にアドインについては、全てを有効にすると **Enterprise Architect** の起動・動作が遅くなる場合もありますので、必要なもののみをインストールするようにしてください。不明な場合には既定の設定のままインストール作業を進め、アドインは必要になった段階でインストールすることをお勧めします。この内容を変更する手順については、このドキュメントの 6 章をご覧ください。

(バージョン 13.5 以前のバージョンをご利用の方への補足: SysML 利用者の増加を受けて「SysML サポートアドイン」は標準でインストールするようになりました。そのため、この画面での選択が不要になりました。)

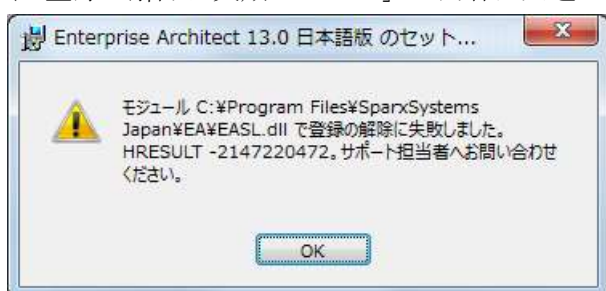
希望するアドインを選択したら、「次へ」ボタンを押すと、次の画面に進みます。



この画面は確認のための画面なので、そのまま「インストール」ボタンを押してください。インストール処理が始まります。インストールするマシンの性能や状況に応じて1分から数分程度かかります。評価版や過去のバージョンの製品版・英語版の Enterprise Architect がインストールされているマシンにインストールした場合には、このタイミングで評価版・過去のバージョン・英語版のアンインストールが実行されますので、時間がかかります。

なお、インストール中の処理で、古いバージョンの Enterprise Architect のアンインストールを行っている際に以下のようなメッセージが表示される場合があります。

(「登録の解除に失敗しました」の内容は共通ですが、ファイル名やパスは異なる場合があります。)



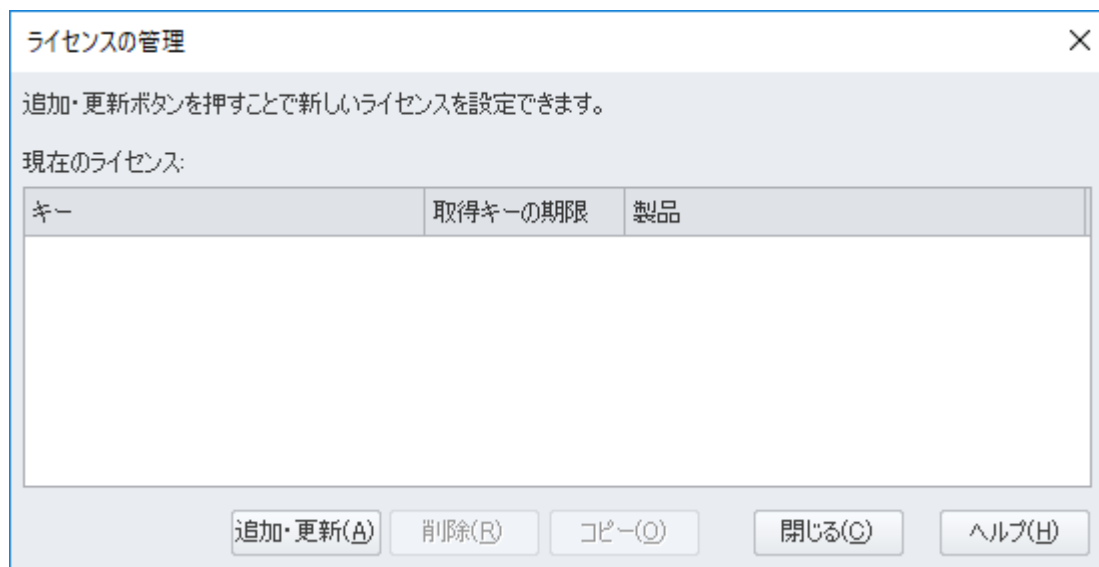
このエラーは無視してください。このエラーは何度か表示されますが、すべて OK ボタンを押して閉じて下さい。このエラーが表示される場合でも正しくインストールされます。

### 3. 初回起動の手順

インストールが完了したら、Windows のスタートメニューから起動することができます。「プログラム」の中の、Enterprise Architect グループを選択してください。Enterprise Architect という項目がありますので、これを選択すると Enterprise Architect が起動します。

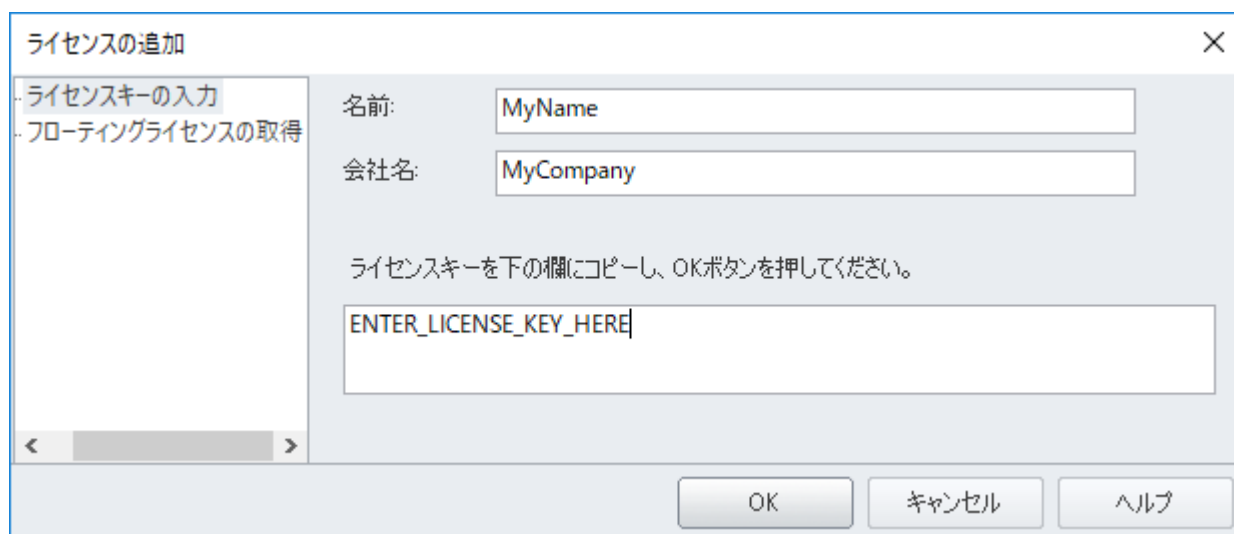
あるいは、デスクトップ上の「Enterprise Architect」というアイコンをダブルクリックしても起動します。

最初に起動したときには、次のような画面が表示されます。



この画面での操作は、フローティングライセンスを利用するかどうかによって異なります。

通常のライセンスをご利用の方は、ここで、キーの「追加・更新」ボタンを押してから使用者の名前と会社名・ライセンスキーを入力します。



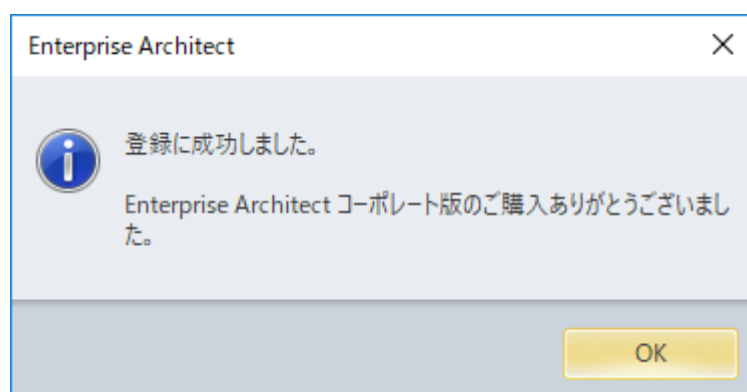
ライセンスキーを入力する欄には、ダイレクト購入の場合にはスパークスシステムズ ジャパンからメールで送付されたライセンスキーを入力してください。メールでライセンスキーを受け取っている場合には、コピーして貼り付けると間違いがなく入力できるでしょう。

(フローティングライセンスのキーを、この欄に入力して利用することはできません。)

パッケージ購入の場合には、パッケージ内の用紙にライセンスキーが記載されています。間違いがないように転記して下さい。

(パッケージのユーザー登録を完了すると、ライセンスキーの情報が電子メールで送付されます。この内容をコピーすると間違いなく入力できます。)

正しい情報が入力されると、次のような画面が表示されます。これで登録は完了です。誤った情報が入力された場合には、Enterprise Architect は起動せずに終了します。



フローティングライセンスの場合には、左側の選択肢の「フローティングライセンスの取得」を選択した上で、ライセンスサーバの情報を入力し、製品を選択してライセンスを取得してください。ライセンスサーバのインストールや設定がすんでいない場合には、先にインストールと設定が必要です。この詳細は、会社内・組織内で利用している場合には、それぞれの会社・組織のライセンス管理者の方にご確認ください。

(会社・組織のライセンス管理者の方は別の PDF ファイルとして提供されている「フローティングライセンス マニュアル」をご覧ください。)



ライセンスの追加

名前: MyName

会社名: MyCompany

ライセンスサーバ: sskss://sample/

製品の選択

(追加・削除の反映には再起動が必要な場合があります)

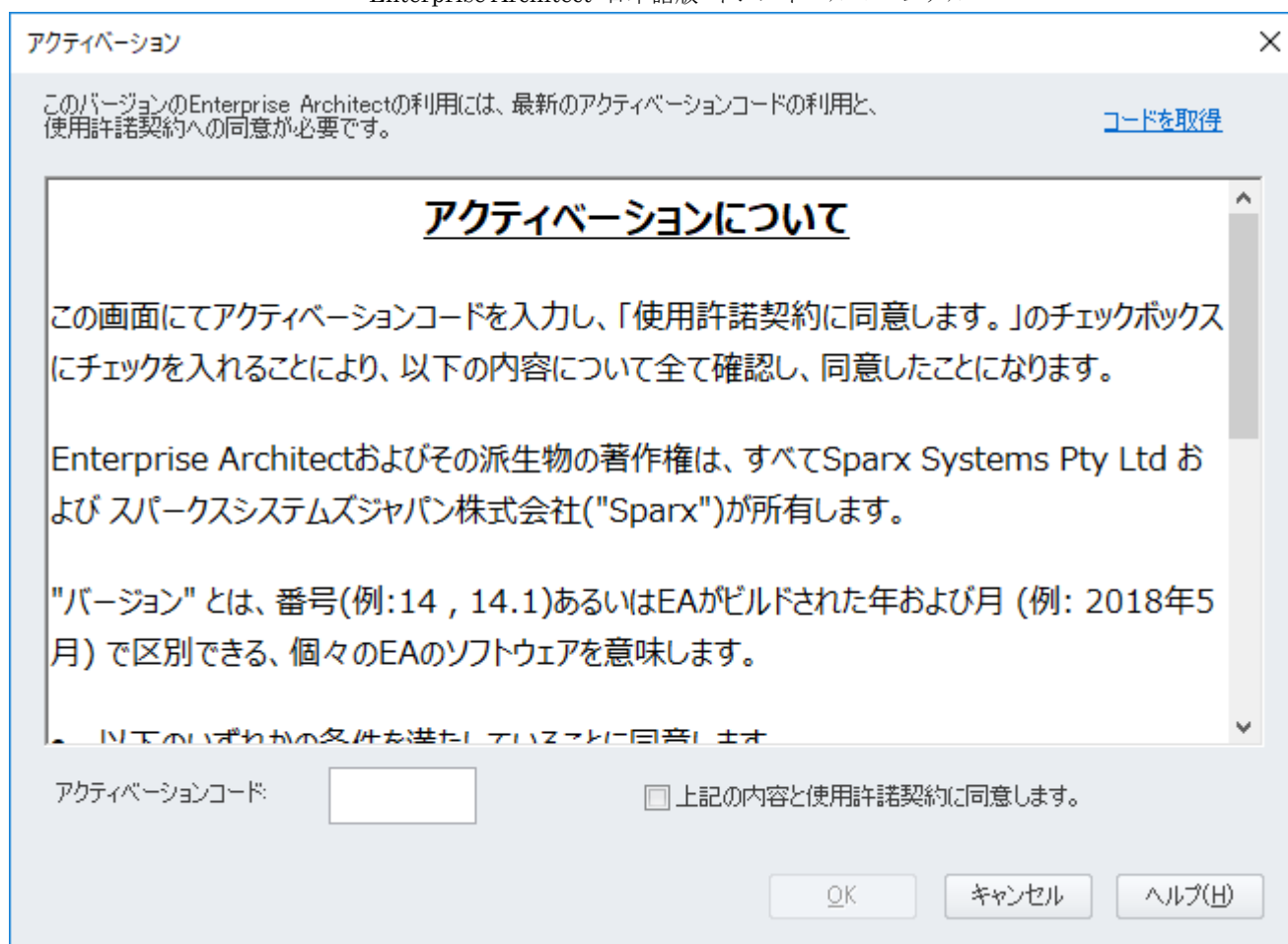
OK キャンセル ヘルプ

以上でライセンスの登録作業は完了です。

## 4. アクティベーション

バージョン 14.0(以降)では、Enterprise Architect の初回起動時に「アクティベーションコード」の入力が必要です。ライセンスの設定後、Enterprise Architect の起動時に、以下のような画面が表示されます。

なお、この画面は、アクティベーションコードを設定するまでは毎回表示されます。また、過去に入力済みの場合でも、新しいバージョン・ビルドに更新した場合で過去に入力したアクティベーションコードの期間が過ぎている場合には、最新のアクティベーションコードの入力が必要になります。



「アクティベーションコード」の欄に、4文字のアクティベーションコードを入力してください。このアクティベーションコードが不明な場合には、画面右上の「コードを取得」のリンクをクリックし、スパークスシステムズ ジャパンの Web サイトで取得できます。

ただし、アクティベーションコードを取得するためにはサポート ID とパスワードが必要となります。

- ✓ パッケージ版を購入した方は、パッケージのユーザー登録を行うことで、サポート ID とパスワードを入手できます。入手したサポート ID とパスワードを利用して、アクティベーションコードを入手できます。
- ✓ 企業で購入した場合には、サポート ID とパスワードはライセンス管理者のみが知っている場合があります。アクティベーションコードが不明な場合にはライセンス管理者に聞いてください。(スパークスシステムズ ジャパンにご質問いただいても、アクティベーションコードをお伝えすることはできません。)
- ✓ アクティベーションコードが不明な場合や、パッケージ版を購入してパッケージのユーザー登録が完了していない場合には、5 回まではアクティベーションコードを入力せずに、Enterprise Architect を起動することができます。

表示されている内容を確認し、同意できる場合には「上記の内容と使用許諾契約に同意します。」の項目にチェックを入れてから OK ボタンを押してください。アクティベーションコードを入力しないで起動する場合に

は、「上記の内容と使用許諾契約に同意します。」の項目にチェックを入れると「キャンセル」ボタンが「後で」ボタンに変わりますので、「後で」ボタンを押すと 5 回まではアクティベーションコードを入力せずに起動することができます。

## 5. その他の情報

スパークシステムズ ジャパンの Web サイトからは、基本的な操作手順を説明した「ゼロからはじめる Enterprise Architect」や、Enterprise Architect を利用した設計で利用する操作・機能を説明している「モデリング操作ガイド」もダウンロードできますので、ぜひご利用ください。

[https://www.sparxsystems.jp/products/EA/ea\\_documents.htm](https://www.sparxsystems.jp/products/EA/ea_documents.htm)

また、無料のセミナー「Enterprise Architect 入門セミナー」では、実際に一人 1 台のマシンを利用して、Enterprise Architect の基本的な操作方法を実践的に学ぶことができます。サポートが有効な方は無料で参加できますので、お時間に余裕がある方はぜひご参加下さい。原則として毎月 1 回開催です。

<https://www.sparxsystems.jp/seminar/EAIIntroduction.htm>

いくつかの操作・機能につきましては、動画にて内容をご覧いただくことができます。実際の動作を確認したい方は、動画デモもご利用ください。

[https://www.sparxsystems.jp/products/EA/ea\\_demo.htm](https://www.sparxsystems.jp/products/EA/ea_demo.htm)

## 6. インストール後のアドインの変更

インストール後に、アドインを追加・削除したい場合には、再度「追加アドインの選択」画面を表示させる必要があります。表示させる方法は、次のいずれかとなります。

- ・ インストーラーのファイルを再度実行します。
- ・ Windows のコントロールパネルの「プログラムと機能」を実行し、「Enterprise Architect 日本語版」の「変更」を実行します。

いずれの場合も、以下の画面が表示されますので、「変更」を選択して「次へ」を押してください。その後、「追加機能の選択」画面が再度表示され、アドインの設定内容を変更することができます。

